

中国海洋石油開発戦略*

産業研究ユニット石油・ガスグループ 主任研究員 郭 四志

中国は堅調な経済成長に伴い、国内石油需要が増加の一途を辿っている。陸上油田の生産は東部主力油田の老朽化により頭打ちになっており、今後需給ギャップがますます拡大する。こうした背景の下、中国は 2010 年までに海洋油田の生産能力を倍増させ、1200 億元を投じ、外国技術設備及び外資導入を行い、海洋油田の開発を加速・強化し、石油需要の急増への対応を狙っている。

中国近海での原油生産量は、2003 年の実績で約 3336 万トンであった。現在、中国近海で石油・天然ガス資源量は 351～404 億石油換算トンで、今後 10 年間の海洋石油・天然ガス生産量は 20%のペースの増産を見込んでいる。中国政府は海洋石油生産量を 2010 年までに 2003 年の 2 倍（6600 万トン）にする計画である。目下、渤海湾、東シナ海、南シナ海を中心に新たな油田、天然ガス田の開発・生産を開始している。

中国海洋石油・天然ガスを担当する CNOOC（中国海洋石油総公司）は 10・5 計画期（2001～2005 年）にすでに 500 億元以上を投資し、50 基のオフショア・プラットフォームを渤海に建造し、現下、渤海油田では計画目標である 2000 万トンの原油生産量を達成した。長期には 3500 万トンとする計画を進めている。また、CNOOC は 2005 年には 9 つの新規海上油田は生産を開始、2006 年までに計 16 の新規油田が生産に入ることになっている。

中国は海洋石油開発目標を実現するのに、主に以下のような戦略措置・政策を積極的に実施している。

1. 外国技術・設備の導入

中国は現在、海洋探査・開発に関する高付加価値のコア技術設備（地球物理探査装置・システムソフト・測定誘導設備など）のほぼ 100%を先進国に依存している。また、海洋石油開発用発電ユニットは体積が大きく、効率が悪いなどの問題を抱えて、輸入に頼らなければならない。

中国は海洋石油開発に取り組みに伴い、今年、その輸入を加速している。2005 年 1～5 月に中国最大の国際貿易税関先である天津港で輸入した海洋石油探掘発電ユニットは前年同期比 44.4%増の 39 台、価格は同 100%増の 441 万ドルであった。また、同港では海上石油探査機、開発用機器の計 1 億 2000 万ドルの輸入を取り扱っている。そのうち米国からの輸

*本文は『リビア・タイプ』2005 年 10 月 14 日・17 日に掲載されたものを転載許可を得て掲載いたしました。

入が大半を占め、その価格は前年同期比約 55.5%増の 5725 万ドルである。

海洋石油・天然ガス開発を促進するために、中国政府は 2001 年、『海洋石油天然ガス採掘輸入物資の輸入税収免除暫定規定について』を公布し、海上探査・開発に必要な専用設備及び重要部品に免税優遇策・措置を実施している。

2 . 自主技術開発への取り組み

中国は海洋石油開発を加速するために、外国技術・設備を導入するのみならず、自主開発にも力を入れている。政府とCNOOC、Sinopecは、近年国家研究開発計画である「渤海大型油田の探鉱・開発に関する重要技術」開発プロジェクト(投資額8.2 億元)を開始した。同計画により、2005 年までに高解像度の探鉱技術や3次元掘削、回収率改善に関する新技術・設備を開発し、推定埋蔵量を5億トン追加し、原油年産量を2100 万トン増強、回収率を1～5%引き上げるとしている。現下、海洋石油探査開発に関する自主技術を開発するには、中国はなるべく国内で政府と企業及び研究機関は技術資源を集約し共同開発を進めている。

3 . 外資導入による探鉱・開発

中国は国内海洋石油開発を強化するため、外資を積極的に導入し、海洋鉱区では随意契約方式と国際入札方式を用いて探鉱・開発を外国企業に開放するようになった。目下、メジャ など 72 社が中国の海洋油田の開発に参加し、計 167 件の契約を CNOOC と結んでいる。近年では、外国直接投資の年間総額は 90 億ドルに達している。現在外国企業が実施する海域探鉱・開発面積は 12 万㎡で、20 油ガス田を開発している。

特に注目されるのは、Phillips Petroleum (現 Conoco Phillip) と CNOOC との蓬莱 19-3 鉱区での共同開発プロジェクトである。同プロジェクトは 1999 年に同地区で確認埋蔵量 6 億トンの油田を発見し 2002 年 12 月 31 日から正式に生産を開始した。2005 年までには原油生産は年間 800 万トンに達する目標である。また、2004 年に CNOOC は探鉱において、6 つの新油田を発見し、新たに石油・天然ガス確認埋蔵量 3287 万石油換算トンを獲得している。そのうち原油は 1855 トン、天然ガスは 177 億㎡となっている。開発・生産では 16 の石油・天然ガスプロジェクトを実施し、中でも南シナ海における惠州 19-3/2 など 6 油田の生産がスタートしている。

また、近海領有権問題について、関係諸国と交渉・対応し、共同開発を図っている。2005 年 3 月、南シナ海の資源開発について、中国政府と関係諸国が交渉・協力し、中国、ベトナム、フィリピンの国営石油会社 (CNOOC、Petro Vietnam、PNOC) は「南シナ海海洋鉱区での 3 社による地震探鉱に関する取り決め」に調印し、8 月 31 日、CNOOC の探鉱子会社は同 3 国探鉱プロジェクトを落札している。中国とベトナム、フィリピンは、各自に領有権を主張している南沙諸島周辺海域で本格的に共同開発を始めている。

お問い合わせ：report@tky.ieej.or.jp